

「見える」安全活動

(目的)

色別のベスト着用して日々。安全管理部が安全巡視することで、労働災害発生状況の「見える化」及び視覚的な安全意識の向上、現場巡回における不安全行動の抑止力、労働災害防止、労働安全担当者であることの周知。

(取り組み)

安全巡視でベストを着用し事業所内へ労働災害が発生したことを全国17事業所、約12,000名の社員・アルバイト・パートへ周知、注意喚起のための現場巡回を実施。

「見える」安全意識の向上

労働災害発生状況を視覚的(色別)で作業者へ情報共有。
→言葉の通じない外国人にも色で状況が伝わるようになった。



(橙色) 自事業所で労災発生(赤チン含む)
→ 発生後、2週間着用により注意喚起



(黄色) 他事業所で労災発生(赤チン含む)
→ 発生後、1週間着用により注意喚起



(青色) 会社全体が無災害の状態

「見える」現場巡視、教育指導の様子



転倒災害防止のため、
定位置管理、直角運動の
指導教育及び掲示物による
「見える化」



従業員は、ビブス着用により
安全担当者と認識してもらえ
るため、自信を持って安全活
動ができる。



胸、背中のポケットを
利用し安全メッセージ
を発信



(左図)
他工場（他社含む）労災事故が
発生した際、製造を中断して情
報共有と注意喚起

(右図)
他社を含めた労災（ヒヤリハッ
ト含む）を掲示にて即時周知。

